

介護支援専門員意向調査アンケート
集計結果及び分析内容

1.基本項目

地区別

所属支部	人数	回収率
秋田市圏域	10	1.1%
男鹿潟上南秋圏域	37	4.2%
由利本荘圏域	47	5.3%
大館鹿角圏域	58	6.6%
能代山本圏域	23	2.6%
北秋田上小阿仁圏域	34	3.9%
大仙仙北圏域	15	1.7%
横手圏域	9	1.0%
湯沢雄勝圏域	30	3.4%
合計	263	29.9%

性別

性別	人数	回収内比率
未回答	21	8.0%
男性	56	21.3%
女性	186	70.7%
合計	263	100.0%

年齢

年代	人数	回収内比率
未回答	221	84.0%
20代	0	0.0%
30代	10	3.8%
40代	13	4.9%
50代	18	6.8%
60代	1	0.4%
合計	263	100.0%

ケアマネ経験年数

経験年数	人数	回収内比率
未回答	7	0.8%
なし	4	0.5%
1年未満	15	1.7%
2年未満	19	2.2%
3年未満	26	3.0%
4年未満	20	2.3%
5年未満	28	3.2%
6年未満	37	4.2%
7年未満	20	2.3%
8年未満	18	2.0%
9年未満	14	1.6%
9年以上	55	6.3%
合計	263	29.9%

勤務先

勤務先	人数	回収内比率	
未回答	21	8.0%	
居宅介護支援	191	72.6%	
介護施設	介護老人福祉施設	16	6.1%
	介護老人保健施設	10	3.8%
	療養型	0	0.0%
	養護	1	0.4%
	小計	27	10.3%
その他	グループホーム	5	1.9%
	小規模多機能型	1	0.4%
	有料老人ホーム	0	0.0%
	未記入	18	6.8%
小計	24	9.1%	
合計	263	100.0%	
未回答	56	21.3%	
社福法人	116	44.1%	
医療法人	30	11.4%	
会社	42	16.0%	
NPO	0	0.0%	
市町村	12	4.6%	
農協	2	0.8%	
その他	5	1.9%	
合計	263	100.0%	

雇用形態

雇用形態	人数	回収内比率
未回答	8	3.0%
常勤	249	94.7%
非常勤	6	2.3%
合計	263	100.0%

ケアマネ業務

業務		人数	回収内比率
未回答		14	5.3%
従事せず		15	5.7%
専任		170	64.6%
兼任業務	管理者	4	1.5%
	相談員	2	0.8%
	サービス計画作成	1	0.4%
	介護職	9	3.4%
	看護職	0	0.0%
	リハビリ職	0	0.0%
	栄養職	0	0.0%
	事務職	0	0.0%
	職名未記入	48	18.2%
	小計	64	24.3%
合計		263	100.0%

保有資格

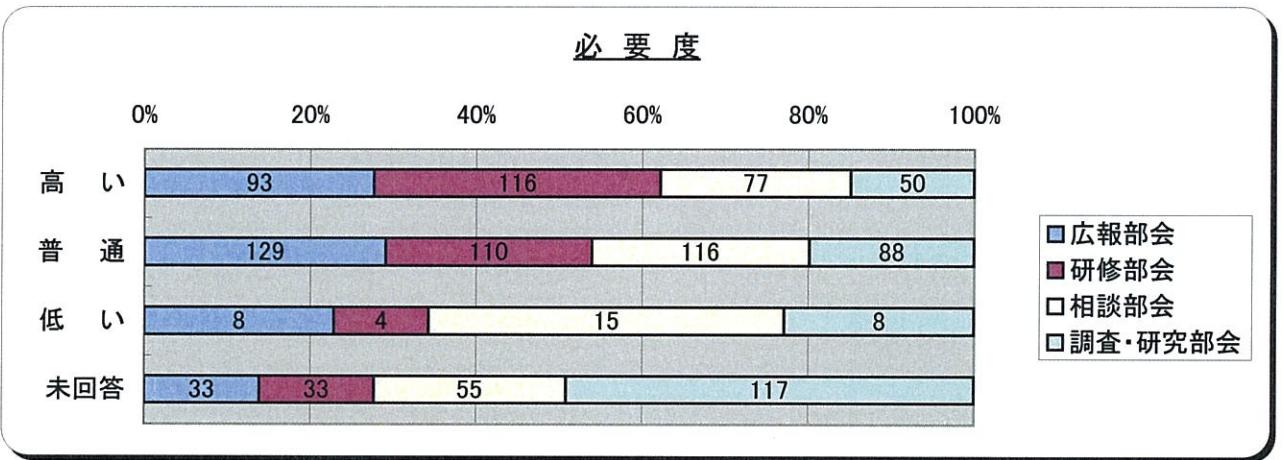
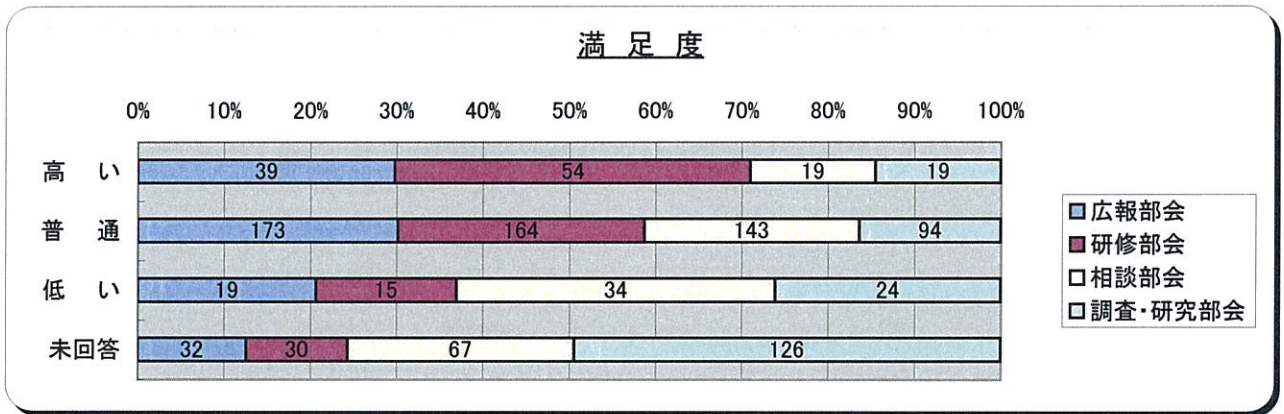
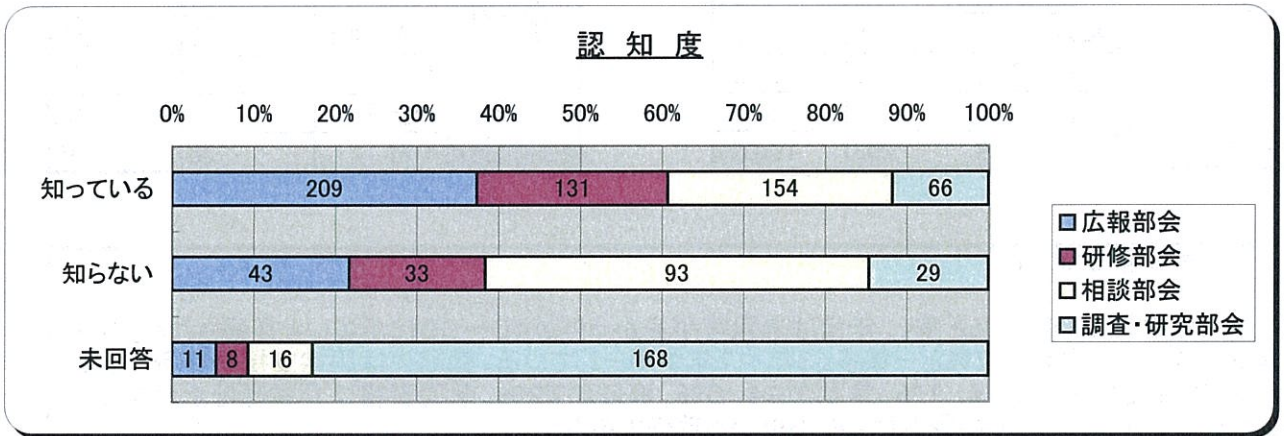
資格		複数回答	回収内比率
介護福祉士		181	20.6%
社会福祉士		41	4.7%
精神保健福祉士		5	0.6%
看護師		34	3.9%
准看護師		7	0.8%
保健師		2	0.2%
その他	栄養士	3	0.3%
	管理栄養士	1	0.1%
	理学療法士	0	0.0%
	作業療法士	1	0.1%
	柔道整復士	0	0.0%
	社会福祉主事	20	2.3%
	未記入	13	1.5%
	小計	38	4.3%

1. 基本項目について

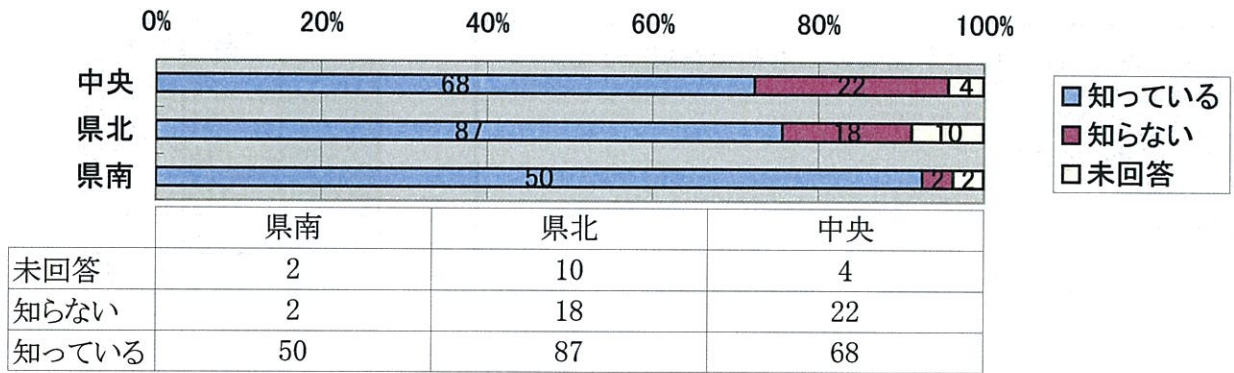
性別では女性が70.7%と多く、年代は未回答が多かったが40～50代が多いと推察される。経験年数は9年以上が21.2%と一番多く3年～7年が均一している。勤務先は居宅支援事業所が72.6%、社会福祉法人が44.1%、常勤が94.6%、専任が72%、基礎資格は介護福祉士が68.8%となっている。ここでの課題は24.3%いる兼任であろう。

問2. 県協会の活動内容について(該当する項目すべてについて○)

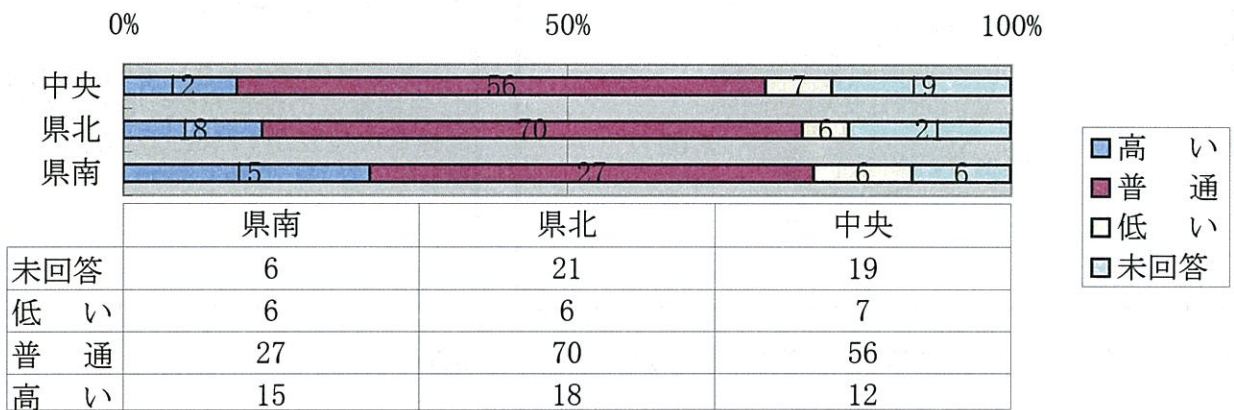
	認 知 度			満 足 度				必 要 度				
	知っている	知らない	未回答	高 い	普 通	低 い	未回答	高 い	普 通	低 い	未回答	
広報部会	209	43	11	39	173	19	32	93	129	8	33	
研修部会	131	33	8	54	164	15	30	116	110	4	33	
相談部会	154	93	16	19	143	34	67	77	116	15	55	
各 地 区 協 会	中央	68	22	4	12	56	7	19	30	42	3	19
	県北	87	18	10	18	70	6	21	36	54	4	21
	県南	50	2	2	15	27	6	6	23	22	2	7
	合計	205	42	16	45	153	19	46	89	118	9	47
調査・研究部会	66	29	168	19	94	24	126	50	88	8	117	



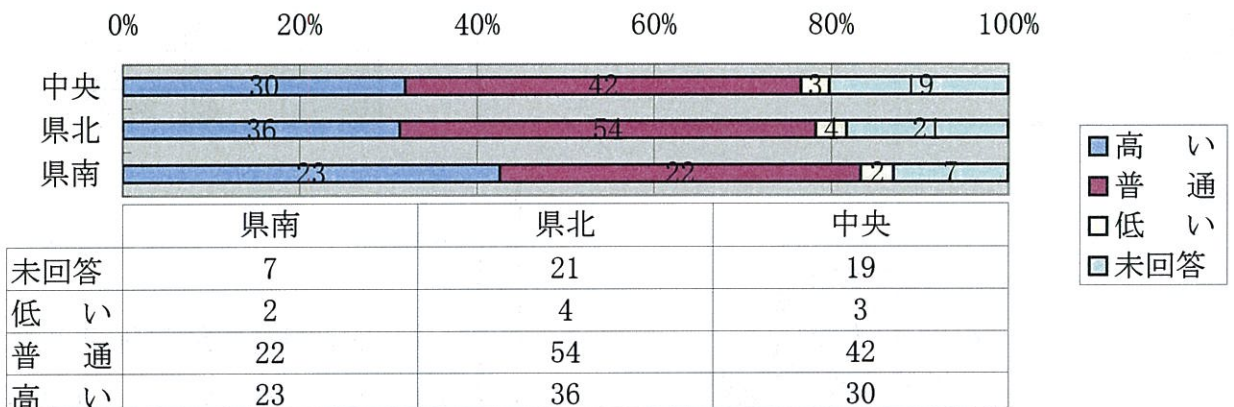
地区別協会認知度



地区別協会満足度



地区別協会必要度



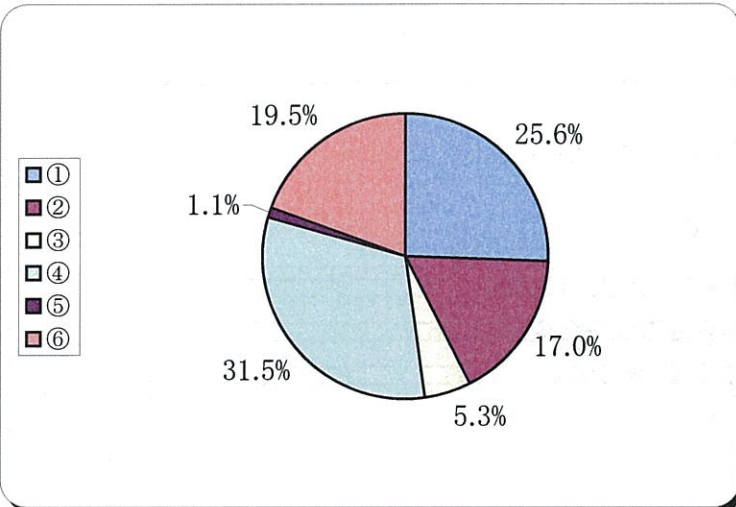
2. 県協会の活動内容について

広報部会の認知度が79.4%と最も高く、調査研究部会が25%と低く活動の在り方を検討する必要があると思われる。地区協会活動を知らないと答えた割合が16%あり今後の課題である。

問3. 県協会の組織体制について必要と思われるものは何ですか。(該当する項目全てに○)

- ①地区協会、県協会、日本協会の三層構造を構築する。
- ②事務局体制の確立
- ③事務所の設置
- ④活動基盤の強化
- ⑤その他
- ⑥わからない

	複数回答	回答内比率
①	92	25.6%
②	61	17.0%
③	19	5.3%
④	113	31.5%
⑤	4	1.1%
⑥	70	19.5%



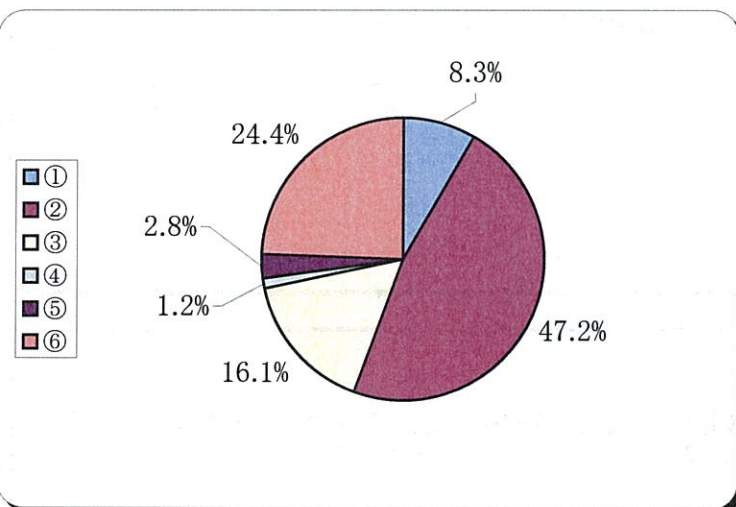
3. 県協会の組織体制について必要と思われるものは何ですか。

活動基盤の強化が31.5%と最も高く、三層構造の構築が25.6%、事務局体制の確立が17%となっており、わからないが19.5%であった。

問4. 県協会活動に今後何が必要と思われますか。(該当する項目一つに○)

- ①収益事業活動
- ②会員を対象に保険者と連携が取れる活動
- ③県民を対象とした活動
- ④出版活動
- ⑤その他
- ⑥わからない

	回答	回答内比率
①	21	8.3%
②	120	47.2%
③	41	16.1%
④	3	1.2%
⑤	7	2.8%
⑥	62	24.4%



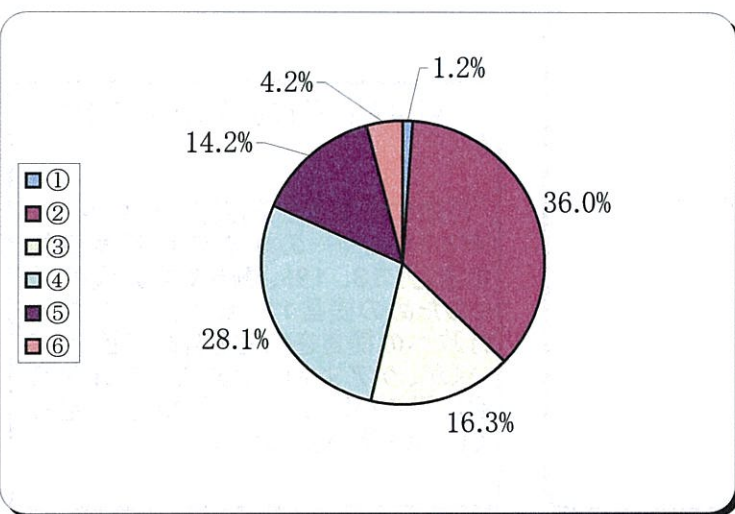
4. 県協会活動に今後何が必要か。

会員を対象に保険者と連携が取れる活動が47.2%と多く、県民を対象とした活動が16.1%でわからないが24.4%であった。会員の多くが保険者との連携を望んでいる。

問5. 県協会の財政基盤の強化に必要と思われるものは何ですか。(該当する項目二つに○)

- ①会費の増額
- ②県、市町村の委託費、補助金の確保
- ③民間助成団体資金の活用
- ④会員の確保拡大
- ⑤研修会、出版物の取扱で一定に財源を得る
- ⑥その他

	複数回答	回答内比率
①	5	1.2%
②	155	36.0%
③	70	16.3%
④	121	28.1%
⑤	61	14.2%
⑥	18	4.2%



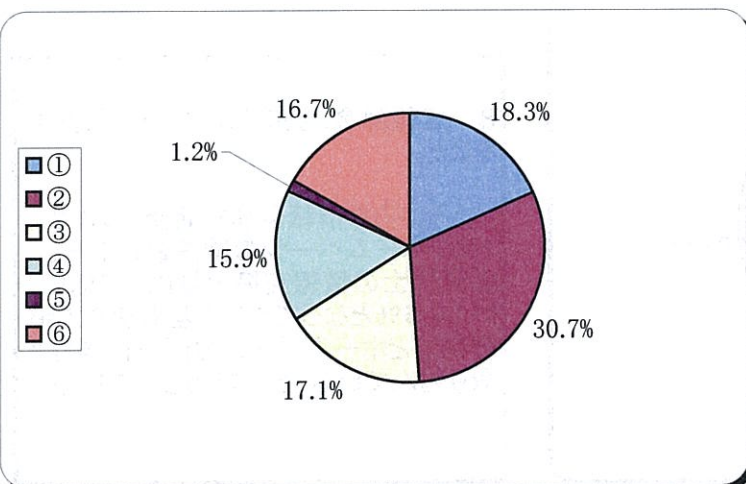
5. 県協会の財政基盤の強化に必要と思われるものは何ですか。

県、市町村の委託費、補助金の確保が36%、会員の確保拡大が28.1%、民間助成団体資金の活用が16.3%、研修会、出版物の取扱で財源を得るが14.2%、会費の増額は1.2%で会費の増額については厳しい結果である。

問6. 地区・県協会では会員管理に難儀しております。会員管理を円滑に行うために何が必要ですか。(該当する項目一つに○)

- ①口座振替の継続
- ②入退会のしかたを周知する
- ③会員の異動履歴管理
- ④会員名簿の発行
- ⑤その他
- ⑥わからない

	回答	回答内比率
①	46	18.3%
②	77	30.7%
③	43	17.1%
④	40	15.9%
⑤	3	1.2%
⑥	42	16.7%



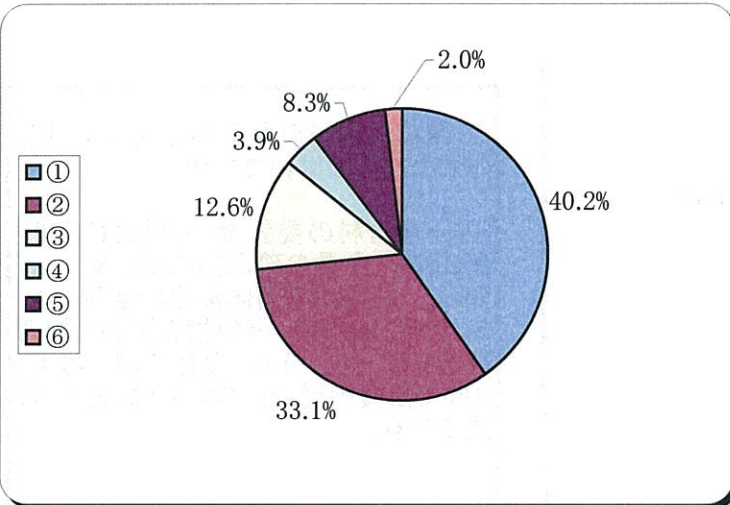
6. 会員管理を円滑に行うために何が必要ですか。

入退会のしかたを周知する30.7%、口座振替の継続18.3%、会員の異動履歴管理17.1%、会員名簿の発行がそれぞれ16.7%となっており、入退会のしかたを広報等で周知していくとかホームページ開設時にホームページ上からも入退会できる仕組みも検討が必要であろう。

問7. 県協会に期待することは何ですか。(該当する項目一つに○)

- ①現場の意見を取り上げ行政に提言できる組織
- ②ケアマネジャーの地位向上(国家資格化含む)
- ③働きやすい環境づくりのため提言を行ってほしい
- ④活動のピーアールが必要
- ⑤他団体との連携
- ⑥その他

	回答	回答内比率
①	102	40.2%
②	84	33.1%
③	32	12.6%
④	10	3.9%
⑤	21	8.3%
⑥	5	2.0%



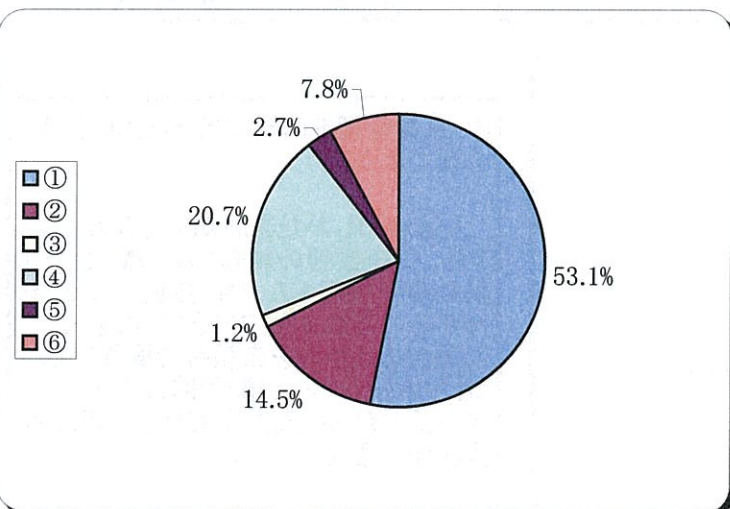
7. 県協会に期待することは何ですか。

行政に提言できる組織40.2%、ケアマネジャーの地位向上(国家資格化含む)33.1%、働きやすい環境づくりのための提言12.6%となっており行政への提言を内容も含めてどうしていくか、ケアマネの地位向上を日本協会に働きかけていくなどの取組を望んでいる会員が多くいる。

問8. 広報部会、「会報」について期待することは何ですか。(該当する項目一つに○)

- ①色々の情報発信を期待する
- ②会員同士の情報交換の場にして欲しい
- ③発行回数を増やす
- ④ホームページの開設
- ⑤その他
- ⑥わからない

	回答	回答内比率
①	136	53.1%
②	37	14.5%
③	3	1.2%
④	53	20.7%
⑤	7	2.7%
⑥	20	7.8%



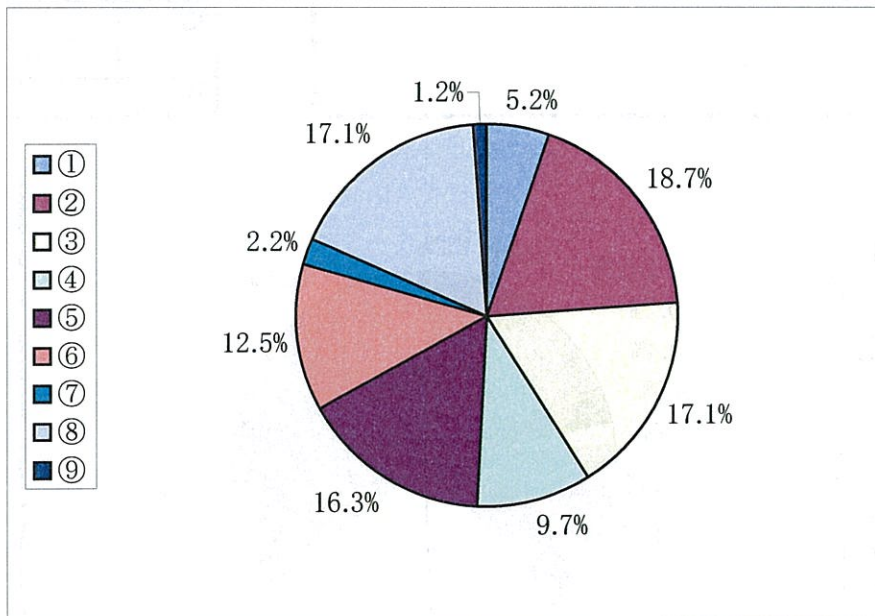
8. 広報部会、会報について期待すること。

いろいろな情報発信を期待する53.1%、ホームページの開設20.7%、会員同士の情報交換の場にしてほしい14.5%となっており内容も含めて情報発信とホームページの開設に向けて取り組んでいくことが求められている。

問9. ケアマネジメントの質の向上のため、今後どのようなことが必要と思われますか。
(該当する項目二つに○)

- ①職場内での研修
- ②各種サービス等の社会資源の情報収集
- ③他の介護支援専門員との意見交換の場
- ④地域包括支援センターによる困難事例等に対する支援
- ⑤医療機関との連携
- ⑥外部研修
- ⑦人材の確保
- ⑧事務の軽減
- ⑨その他

	複数回答	回答内比率
①	26	6.6%
②	93	23.5%
③	85	21.5%
④	48	12.2%
⑤	81	20.5%
⑥	62	15.7%
⑦	11	2.8%
⑧	85	21.5%
⑨	6	1.5%



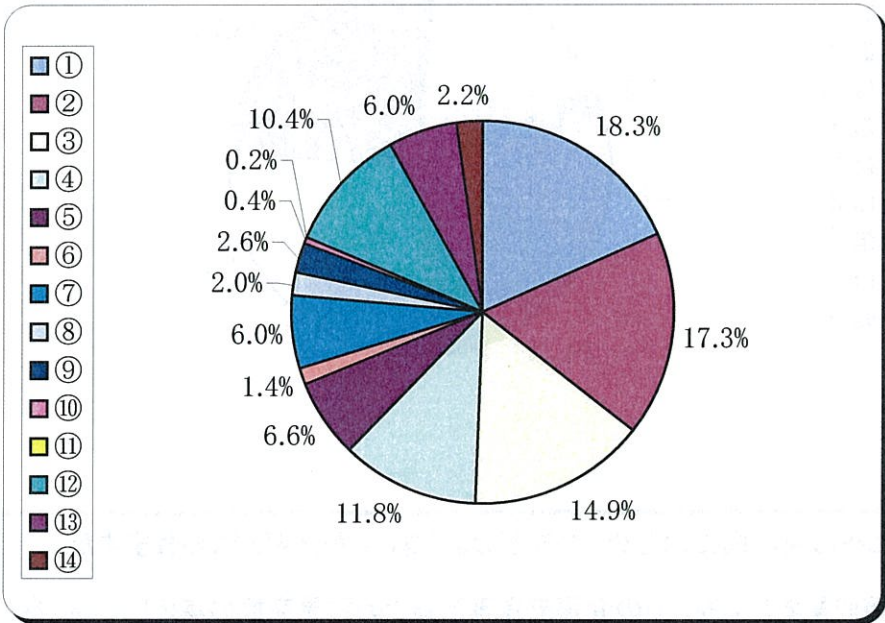
9. ケアマネジメントの質の向上のため、今後どのようなことが必要と思われますか。

社会資源の情報収集23.5%、他の介護支援専門員との意見交換の場21.5%、事務の軽減21.5%、医療機関との連携20.5%、外部研修15.7%となっており社会資源の情報収集の方策、介護支援専門員の交流の場の設定、事務の軽減の具体策、医療機関との連携を県協会としてどう取り組んでいくか検討していく必要がある。

問10. どのような研修があなたのスキルアップにつながるとお考えですか。(該当する項目二つに○)

- ① 困難事例の検討
- ② 医学一般に関する知識
- ③ 認知症高齢者への対応
- ④ ケアプランの作成・評価
- ⑤ 専門研修課程
- ⑥ 介護に関する知識
- ⑦ 成年後見制度などの権利擁護関連制度
- ⑧ 介護予防に関する知識・技術
- ⑨ リハビリテーションに関する知識
- ⑩ 住宅・住環境に関する知識
- ⑪ 福祉用具に関する知識
- ⑫ 終末期医療・介護
- ⑬ 施設ケアマネを対象とした研修
- ⑭ その他

	複数回答	回答内比率
①	92	18.0%
②	87	17.0%
③	75	14.6%
④	59	11.5%
⑤	33	6.4%
⑥	7	1.4%
⑦	30	5.9%
⑧	10	2.0%
⑨	13	2.5%
⑩	2	0.4%
⑪	1	0.2%
⑫	52	10.2%
⑬	30	5.9%
⑭	11	2.1%



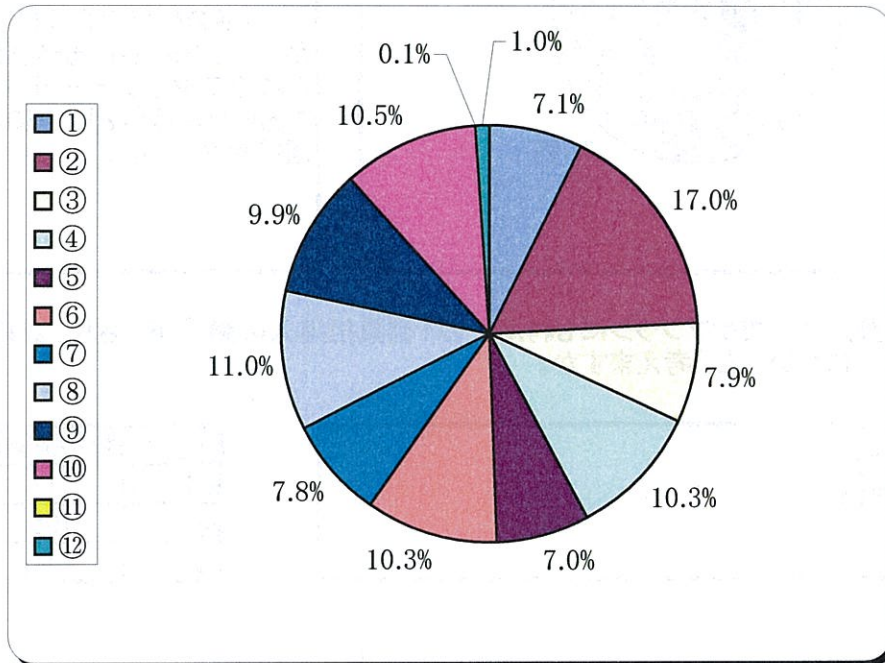
10. どのような研修がスキルアップにつながるとお考えですか。

困難事例の検討18%、医学一般に関する知識17%、認知症高齢者への対応 14.6%、ケアプランの作成・評価11.5%、終末期医療・介護10.2%、専門研修課程6.4%、施設ケアマネを対象とした研修 5.9%となっており多様な研修の機会を求めていることが窺える。

問11. ケアマネジャーの業務遂行上の課題はなんですか。(該当する項目全てに○)

- ①業務内容の明確化(施設ケアマネ)
- ②医療機関との連携
- ③情報の共有化
- ④家族との調整
- ⑤サービス提供事業者との連携
- ⑥法律・制度を理解するのが難しい
- ⑦面接技術
- ⑧アセスメントの視点
- ⑨担当者会議の運営
- ⑩プランニング技術
- ⑪課題はない
- ⑫その他

	複数回答	回答内比率
①	57	7.2%
②	136	17.2%
③	63	8.0%
④	82	10.4%
⑤	56	7.1%
⑥	82	10.4%
⑦	62	7.8%
⑧	88	11.1%
⑨	79	10.0%
⑩	84	10.6%
⑪	1	0.1%
⑫	8	1.0%



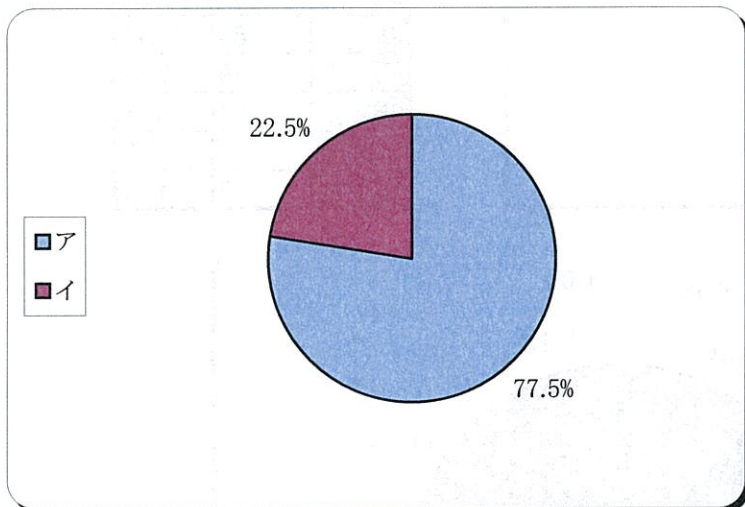
11. ケアマネジャーの業務遂行上の課題は何ですか。

医療機関との連携17.2%、アセスメントの視点11.1%、プランニング技術10.6%、家族との調整10.4%、法律・制度を理解するのが難しい10.4%、担当者会議の運営10%、情報の共有化、面接技術、サービス提供事業者との連携となっている。ケアマネジャーの多くが医療機関との連携に苦慮しているのが窺える。

問12. 退院に向けてケアマネジメントを実施した場合であっても、介護サービスの利用がないと介護報酬の算定ができません。結果的に給付管理に結びつかなかった際に実施した業務を評価することについてはどのように考えますか。また、アの場合は適切な介護報酬がどの程度必要か記述してください。

ア 評価の仕組みを設けるべきである
イ 評価の仕組みを設ける必要はない

	回答	回答内比率
ア	172	77.5%
イ	50	22.5%



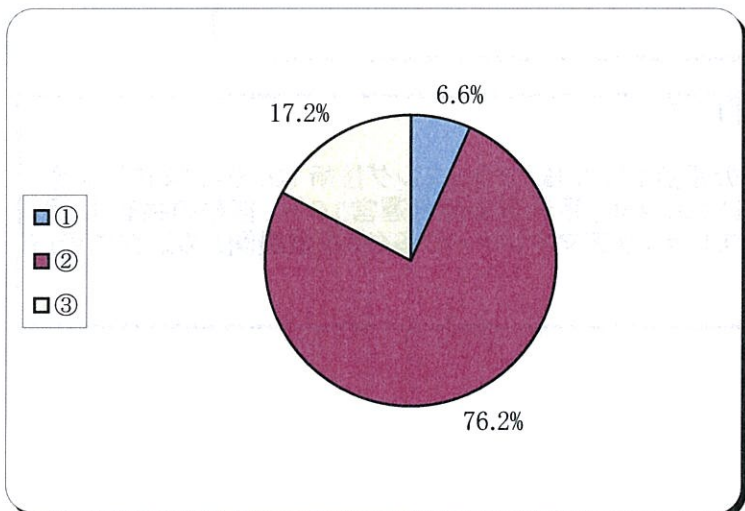
12. 退院に向けてのケアマネジメントを実施しサービス利用に結びつかない場合の介護報酬の算定について。

評価の仕組みを設けるべきであるが77.5%、設ける必要がない22.5%でケアマネジャーとして評価が必要であり介護報酬として500単位という回答が多かった。

問13. 介護給付費分科会でケアプランにも利用者の1割負担導入の議論がなされ、次期改定では見送られましたがこれについてどう考えますか。

①1割負担は当然だ
②現状のままで良い
③よく分からない

	複数回答	回答内比率
①	17	6.6%
②	195	76.2%
③	44	17.2%



13. ケアプランにも利用者の1割負担導入について。

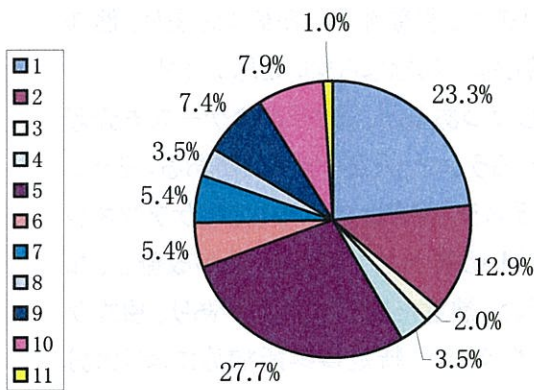
現状のままで良いが76.2%、よく分からないが17.2%、1割負担は当然6.6%で今後も日本協会と連携し1割負担導入には反対していく必要性があると考えている会員が多い。

問14. 現在の職場の労働環境について、改善すべき項目について該当するものに○をつけてください。(三つ以内で)

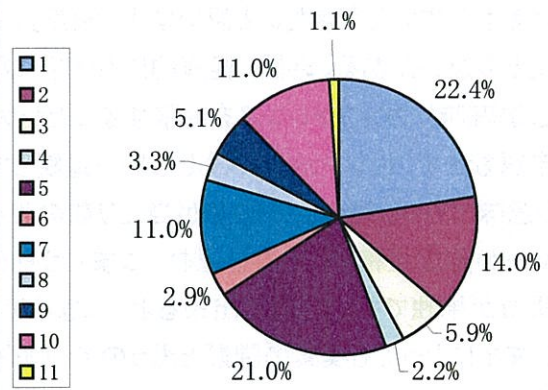
- ①資格に見合った給与水準に引き上げる
- ②経験に見合った給与体系の構築
- ③希望する研修を受講できるようにする
- ④労働時間を短縮する
- ⑤作成書類の軽減等事務作業の効率化
- ⑥有給休暇や育児休業の取得しやすい環境
- ⑦社会的評価を向上させる
- ⑧福利厚生を充実させる
- ⑨メンタルヘルス対策の充実
- ⑩キャリアアップの仕組みを構築する
- ⑪その他

	中央	県北	県南	複数回答	回答内比率
①	47	61	20	128	22.3%
②	26	38	8	72	12.6%
③	4	16	8	28	4.9%
④	7	6	1	14	2.4%
⑤	56	57	16	129	22.5%
⑥	11	8	5	24	4.2%
⑦	11	30	11	52	9.1%
⑧	7	9	6	22	3.8%
⑨	15	14	6	35	6.1%
⑩	16	30	14	60	10.5%
⑪	2	3	4	9	1.6%

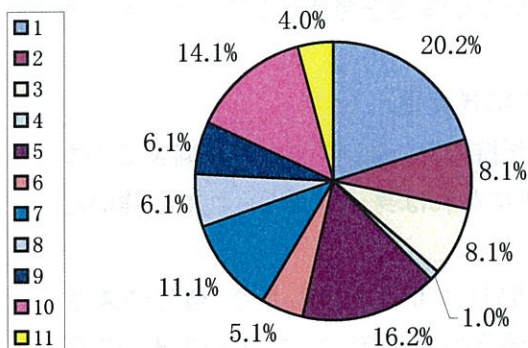
中央



県北



県南



問14. 現在の職場の労働環境について、改善すべき項目について該当するものに○をつけてください。(3つ以内で)

事務作業の効率化22.5%、資格に見合った給与水準に引き上げる22.3%、経験に見合った給与体系の構築12.6%、キャリアアップの仕組みの構築10.5%、社会的評価を向上させる9.1%となっており、給与につながる改善事項が45.2%となっている。

大館鹿角圏域自由意見

○H24年4月に施設ケアマネの研修会が東京で開催されるとのことで、大変有難いと思っています。今後は、ブロックや県、そして地区単位などでこのレベルの研修会の開催を期待します。

○地区、県、日本協会の役割をより明確化していくこと、NPOとして県民に対して責任を果たしていくことが必要と考える。

○資格に見合った手当がない。研修の受講の場合の費用、旅費、宿泊費も全部自己負担、有休を使用し参加しなければならないので、負担が大きく大変である。研修費、資格手当など、補助が得られるような体制を作ってほしい。

○施設ケアマネジャーの役割を明確にして欲しい。また現状の配置基準を100:1以上をせめて50:1以上に。施設ケアマネジャー不要論もあるようだが、それならそれではっきりしてほしい。これ以上真綿で首を絞められるような思いはしたくないので。地区については昨年より施設系ケアマネジャーの研修を開催して頂き、感謝しています。

○訪問に時間をとられてしまい、作成書類は休日出勤せざるをえないことが多いです。もっと効率化していただきたいと思います。国家資格でもないのに、更新申請、研修などあり、他職種との違いがある。時間、経済的にも負担になる。改善しなければならないと思います。

○退院時にカンファレンスを開催することが大分浸透しつつあるが、未だ「このケースで介護申請もせず、カンファレンスもしないで退院してきたのだろうか？」と驚くケースがある。そういう意味でもっと医療との連携が当たり前の世の中になるよう、働きかけてほしい。ケアマネジャーが国家資格となる事を望む。つまりは地位の向上という事かな？報酬体系が改善し、事業所が単独でも黒字運営出来るようになる事を切に望む。熱意だけでは限界があり、独立ケアマネにとっても喫緊の課題と思うので、強く働きかけてほしい。特定事業所加算により大分状況改善されているようではあるけれど…。

由利本荘圏域

○各地区の役員の皆様には、大変感謝しております。これからも色々な研修等に参加し、スキルアップできたらと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。(50代女性)

○1人居宅でケアマネ同士の交流も少なく、いろいろな面で不安です。研修会や広報等での情報が、私にとってはとても重要です。これからもいろいろな情報を発信してほしいです。期待しています。(40代女性)

○興味深い研修の開催、いつもありがとうございます。(30代女性)

○地区、県、日本協会とつながっているという感じがまだ持てていません。双方向までとは言いませんが、事務所があって「顔」が見えるということになれば身近に感じられて心強いと思います。(50代女性)

○事務局の運営ご苦労様です。様々な研修の機会を設定していただけるので、自己のスキルアップにつながっているし、次はどんな研修に参加できるのかと楽しみにしています。広報活動と大変かと思いますが、情報発信基地として期待しています。(30代女性)

○介護度 etc に応じて、1ヶ月分程度の報酬をいただいても良いくらいの対応をしていることが多々あります。ケアマネにソーシャルワークを求められることが非常に多い。他職種で代わりに動いてくれるケースはまずないので…。(30代女性)

○連携を要する他職種との相互理解を深められる活動の必要性を強く感じます。(30代女性)

○利用者本人及びご家族の方から、担当ケアマネが異動することが家族に与える影響も大きいとの声が聞かれます。個人情報もいろいろあると思いますので、考慮いただきたいのですが…。(40代)

○ケアプラン1件につき、いくらというのではなく、在宅介護支援センターに業務を委託して行うなら、介護保険導入前に戻したほうがいいのではと思いますが、それは難しいことですね…。ただ、ケアマネが営利目的に動くようになってきているような気がしてなりません。(一部かもしれませんが。)ケアマネの質を高めたいと思っていますが、事業所の運営となると、営利目的にもならざるを得ないということがあるかもしれません。(50代)

○会費の割に何をしているのか不透明なところがある。同一事業所のケアマネには、アンケートなど一括で発送するなど、経費の削減など考えられないのか。(不明)

○ケアマネの役割や協力依頼をもっと医療系に売り込んでほしい。また、市役所など連携が必要な課、部署にももっと理解をもって対応してもらえるよう働きかけてほしい。(40代)

○自分自身、きちんとケアマネ業務遂行できているか不安である。自分の仕事量や環境を自身で作っていき、日々前進できればと思います。今後も情報や研修内容に期待しています。(40代女性)

○資格の更新のための研修をもう少し簡易的にしてほしい。研修期間が長いうえに、業務での事務処理も多いため、休みが取れない。(20代男性)

○いつも大変お疲れ様です。研修会、もっとバンバンやってもらいたいですね。今年は震災の影響か、いつもより動きがないような気がします。日本協会への会費は高いですね…。少しもったいないような気がします。(30代男性)

○保険者、医師、ケアマネ、サービス事業所の職員が、意見交換できる機会を地区ごとに作ってほしい。(30代女性)

○ケアマネ同士の交流会があればいいと思いますが、みなさんなかなか忙しいですから、難しいですね。(40代女性)

○役員の方々は仕事をしながらよく役割を果たしていると思います。会員にもその活動を知っていただきたいと思います。(40代女性)

秋田県介護支援専門員意向調査自由意見(県南)

○何のための組織、何をやろうと目指している組織が明確に伝わっていない気がします。具体的な目的を明確にして、会員それぞれが「それならば参加しよう」と自主的な参加意識が向上するようなことが必要だと思います。

○介護給付費分科会等の議事録を見る限り、ケアマネに対する風当たりは非常に厳しく、そ

れに対する正当な反論がないのが不思議でなりません。また、秋田県のケアマネの仲間が更新を忘れてしまったことがニュースに出ていましたが、協会はその仲間に対して、どのような援助を行ったのでしょうか。思うに、ケアマネは背番号をつけられ、請求業務すべて国保連合会では把握しています。ならば未更新のケアマネによる請求を指導する等のシステム的な対策を提案するなど、ケアマネを守る対策を推進する必要があると思います。

○日本協会費が高いので会員が増えないのではないか。

○一人ケアマネであり研修会にはなるべく参加したいと考えていますので宜しくお願いします。

○年会費が高いため入会しないという友人もおられます。年会費の高い日本協会に入らなくても、地区、県協会には入りたいとの意見もあるのですが。

○法律の改正が3年に1回なされるが、毎回、我々に周知されるが3月中旬ギリギリのところである。十分な審議をするためとは言え、あまりに遅い。その辺りを協会から国へ伝えていただきたい。このことはサービス事業所においても同じ意見と思うので、タイアップして提言いただきたい。これからは各自治体の特性を基に、社会資源や地域福祉事業の内容が少しずつ異なっていくものと思われるので、県内3ブロックのままよいのかどうかも検討していったらどうか。(大きい単位、小さい単位のメリット、デメリットを考えて)

男鹿南秋潟上

○日本協会はケアマネジメント学会と一緒にしても良いと考えることがある。もちろん今のままでも良い。

○問7に関しては「地域包括・在介協議会」と共催で研修会を開催しても良いと考える。

○県南・県北・中央地区よりもっと小さい圏域ごとに研修など開催していただきたいです。隣りのケアマネの顔が見えるような活動に期待いたします。

○地区や県等からの身近な情報をもっとほしい。通常の居宅と違いケマネと看護の兼務でなかなか現場から離れられず研修にもほとんど参加できない。ホームページ等で定期的に情報を発信してほしい。

○私は現在生活相談員として働いているものです。介護支援専門員を修得され研修等へ参加することで大変役立っていることを実感しております。私たちの事業所は居宅介護支援事業所のケアマネジャーさんからご利用者を紹介頂き運営されているので大へん感謝致しております。日頃のケアマネジャーさん達との付き合いの中で常に感じることは「大へんな立場にいるんだな—」と思う、また、他の仲間たちも長く続けることは大変なことです。その他「資格を修得されても自信がない」等の話を聞きますが今後も増々必要とされる介護支援専門員の現状と立場をもっと深く見つめ直しもっと現状に見合ったもの一言では言えませんが県側・日本協会側の方々に伝えたいです。私は会議等にはあまり参加できず言う立場ではございませんが今後もよろしくお願いいたします。

○アンケート調査を求められることが多いがどの位活用されているかがわかりにくいと思います。回収率が低いのに答えにくかったり記入部分が多かったりするなど利用があると思

うので何らかの工夫が必要かと思います。個人的には時間がとれず研修や総会に参加できなくて申し訳なく思っています。

○ご多忙のなか協会役員の皆さまよくがんばってくれていると思います。

県南地区

○事務局の方には大変ご難儀をおかけいたしております。広報誌には目を通しておりますが、字が多くてなかなか…。興味ある内容をお願いいたします。

○各協会役員の皆様には大変ご難儀をおかけいたしております。今後ともよろしく願いいたします。

○何のための組織、何をやろうと目指している組織か明確に伝わっていない気がします。具体的な目的を明確にして、会員それぞれが「それならば参加しよう」と自主的な参加意識が向上するようなことが必要と思います。

○介護給付費分科会等の議事録を見る限り、ケアマネに対する風当たりは非常に厳しく、それに対する正当な反論がないのが不思議でなりません。また、秋田県のケアマネの仲間が更新を忘れてしまったことがニュースに出ていましたが、協会はその仲間に対して、どのような援助を行ったのでしょうか。思うに、ケアマネは背番号をつけられ、請求業務すべて国保連合会では把握しています。ならば未更新のケアマネによる請求を指導する等の体系的な対策を提案するなど、ケアマネを守る対策を推進する必要があると思います。

○日本協会費が高いので会員が増えないのではないか。

○一人ケアマネであり研修会にはなるべく参加したいと考えていますので宜しくお願いします。

○年会費が高いため入会しないという友人もおります。年会費の高い日本協会に入らなくても、地区、県協会には入りたいとの意見もあるのですが。

○法律の改正が3年に1回なされるが、毎回、我々に周知されるが3月中旬ギリギリのところである。十分な審議をするためとは言え、あまりに遅い。その辺りを協会から国へ伝えていただきたい。このことはサービス事業所においても同じ意見と思うので、タイアップして提言いただきたい。これからは各自治体の特性を基に、社会資源や地域福祉事業の内容が少しずつ異なっていくものと思われるので、県内3ブロックのままでよいのかどうかも検討してはどうか。(大きい単位、小さい単位のメリット、デメリットを考えて)

